

平成 29 年 12 月 吉日

委員各位

公益社団法人日本材料学会  
X線材料強度部門委員会  
委員長 栗村 隆之



## 第 1 8 7 回 X 線材料強度部門委員会の御案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、下記の要項にて第 1 8 7 回 X 線材料強度部門委員会を開催致します。何かとご多忙の時期かと存じますが、万障お繰り上げの上、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。なお、準備の都合がありますので、誠に恐縮ではございますが、平成 3 0 年 1 月 1 2 日までに同封の FAX 用紙または Email にて出欠のご回答をお願いいたします。

敬具

### 記

日時：平成 3 0 年 1 月 2 6 日（金） 1 0 時 0 0 分から 1 6 時 3 0 分  
場所：日本材料学会 3F 会議室 (<http://www.jsms.jp/>)  
(〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町 1-101 Tel:075-761-5321)

#### 担当幹事：

- 王 昀 (株) 日立製作所 研究開発グループ  
材料イノベーションセンタ 材料応用研究部  
〒319-1292 茨城県日立市大みか町 7-1-1  
TEL：050-3176-3031 (直通) FAX：0294-52-7622  
E-mail：yun.wang.tt@hitachi.com
- 小栗 泰造 (地独) 大阪産業技術研究所 和泉センター 技術サポートセンター  
〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1  
TEL：0725-51-2525 (受付) FAX：0725-51-2530  
E-mail：oguri@tri-osaka.jp
- 榑原 隆之 中央発條 (株) 技術・開発部  
〒470-0225 愛知県みよし市福田町宮下 43-1  
TEL：0561-32-8150 FAX：0561-34-5144  
E-mail：takayuki\_sakakibara@chkk.co.jp

ビジネスミーティング (10:00 - 12:00)

議題：

1. 前回議事録確認 (日下)
2. 報告事項
  - 1) 企画事業委員会報告 (小栗)
  - 2) 編集委員会報告 (日下)
  - 3) 第 52 回 X 線シンポジウム準備状況(7/12-13@静岡県産業経済会館 八代,栗村,日下,坂井田)
  - 4) 第 188 回 X 線委員会準備状況 (4/20@材料学会 菖蒲, 松英)
  - 5) 第 67 期総会学術講演会「OS3.非破壊材料強度評価(5/25-27@高知工科大)」準備状況  
(栗村, 八代, 日下, 松英)
  - 6) 第 189 回 X 線委員会 (5/25@高知工科大、疲労と合同) 準備状況 (日下, 松英)
  - 7) 第 54 回 X 線討論会報告 (角谷, 熊谷)
  - 8) 研究関連情報
    - ①中性子 (西田)
    - ②弾性定数 (王)
    - ③放射光 (橋本)
  - 8) 委員異動 (松英)
  - 9) その他
3. 審議事項
  - 1) 平成 29 年度事業および決算報告 (学会締切 4/5) (八代、小栗)
  - 2) 平成 30 年度事業および予算計画 (学会締切 1/10) (八代、小栗)
  - 3) 平成 30 年度幹事会組織と幹事担当事業 (栗村)
  - 4) 小委員会活動
    - ① 二次元検出器小委員会 (坂井田)
    - ② 利用者支援小委員会 (三木)
    - ③ ラインプロファイル解析小委員会(熊谷)
  - 5) その他

昼食休憩 (12:00 - 13:10)

4. 講演会 (13:10 - 16:00)

第一部 X 線材料強度部門委員会賞授賞式および記念講演 (13:10 - 14:10)

熊谷 正芳 先生 (東京都市大学 工学部 機械システム工学科)

「X 線プロファイル解析法による鉄鋼材料のミクロ組織因子に基づく力学的特性評価」

休憩 (14:10-14:20)

第二部 一般講演 (14:20 - 16:00)

テーマ：新しい加工技術による残留ひずみ・応力

(1) ○石橋 良 様、波東 久光 様 ((株)日立製作所)、 (14:20 - 15:10)

吉久保 富士夫 様 (日立 GE ニュークリア・エネルギー)

「オーステナイト系ステンレス鋼表面における表面加工の影響と残留応力制御」

(2) 池庄司 敏孝 先生 (近畿大学 次世代基盤技術研究所) (15:10 - 16:00)

「LB-PBF 型金属積層造形における変形と残留応力」

LB-PBF（レーザー照射式粉体床溶融）型金属積層造形法は比較的高精細な3次元造形が可能のため様々な工学用途への適用が期待されている。しかし、加工中、加工後の造形物の変形が問題となっている。本発表では、LB-PBF造形物の変形と残留応力について、粉体材質、造形物形状、予測方法、対処方法について現在の研究開発動向を紹介する。

(4) 総合討論（16:00 – 16:30）

以上

FAX による出欠の御回答は、本用紙をご活用ください。なお、Email での御回答の場合には、下記 FAX 通信欄をご参考の上、御氏名、御所属、御連絡先を明記頂きますよう宜しくお願い致します。

Email : yun.wang.tt@hitachi.com ((株) 日立製作所 王 昀)  
oguri@tri-osaka.jp ((地独) 大阪産業技術研究所 小栗泰造)  
takayuki\_sakakibara@chkk.co.jp (中央発條 (株) 榊原隆之)

-----FAX 通信-----

FAX 番号 : 0294-52-7622 ((株) 日立製作所 研究開発グループ 王 昀)  
FAX 番号 : 0725-51-2530 ((地独) 大阪産業技術研究所 小栗泰造)  
FAX 番号 : 0561-34-5144 (中央発條 (株) 技術・開発部 榊原隆之)

第 187 回 X 線材料強度部門委員会・出欠通知

御出席 ・ 御欠席

(いずれかを○で囲んでください)

発信元

御氏名 \_\_\_\_\_

御所属 \_\_\_\_\_

御連絡先 \_\_\_\_\_

- ・委員会名簿変更事項 ( 有・無 )  
(有の場合は変更内容を以下に御記入ください)